

3学期始業式「ハチドリの一とすく」1/10

新しい年が始まりました。みなさんが笑顔で登校してきてとても嬉しいです。今年も笑顔いっぱいにご過ごしてほしいと思います。

2学期の終業式でお話をした冬休みの「家族ニコニコ大作戦」は成功したでしょうか？そして、働くこと、生きることのお話もしましたね。人のために生きるというお話です。今日は、この小さな小さな鳥のお話をします。これは、「ハチドリ」という鳥です。とても小さいです。実際はもっと小さくて、体重が2～20g、全長が6cm程度しかありません。世界で最も小さい鳥だそうです。

この鳥の「ハチドリの一とすく」という絵本を読みます。

出典：「ハチドリの一とすく」辻信一監修 光文社刊 2005年

森が燃えていました

森の生きものたちは われ先にと 逃げていきました

でもクリキンディという名のハチドリだけは いったりきたり

口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは 火の上に落としていきます

動物たちがそれを見て「そんなことをして いったい何になるんだ」

とって笑います

クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」

こんなに小さな鳥ですから、くちばしで運べる水は、ごくわずか一滴です。小さな水のしずくを、何百、何千、何万回、運べば火が消せるでしょうか。気が遠くなります。ダメかもしれませぬ。それでも、クリキンディは「私は、私にできることをしているだけ」と答えるのです。

「自分にはできない」とか、「自分がすることではない」「誰かが何とかしてくれないかな」ではなく、「私にできること」をしているのです。みなさんも、新しい年になり、誰かではなく、自分ができると考え、自分ができるとことにチャレンジしてください。

今週木曜日には、思索コンテストがあります。自分事として、自分の考えを、自分の言葉で表現することを期待しています。